

## 社会で働く大人たちからのメッセージを学生へ。 新しい取り組みを始めています。



### (いずれ社会に出るキミたちへ) Message.4

職業：営業事務 坂谷朋美さん(24歳)

私は日本福祉大学の卒業生です。就職活動したのは4年前になります。あこがれの業界もあっし、やっていた仕事もたくさんありました。何となく希望のところに入社できるよと躊躇ってはいません。自分には内定がもらえなくて、落ち、落ち、自分には何も無いことを嫌というほど思い知らされて……だから、4年生の春にいったん就職活動を止めたんです。ドコアツクして良いのか悩んでいました(笑)。

今の会社は、ハローワークで見つけました。それも、入社が決まったのが卒業してから4月の第一週。本選に乗り遅れて間に合った感じです。正直、入ってくれる会社ならどこでもよかった。それまでたくさん落ちますが、会社が何を求めているかよく理解できなくなっていました。自分のことが分かって、どうにか働けるまでです。

でも、それが結果的には良かったのかもしれません。入社した会社で雇われたのは営業事務です。社員数が30人くらいの中堅企業ですから、事務についても幅広い仕事をこなしていくことになり

ます。営業マンのフォローをしたり、倉庫で在庫を確認したり、出張費処理をしたり、受注金額のチェックをしたり……朝晩のシャワーにたくさんのお風呂やボールペンを入れて、事務所のあちこちを飛び回っています。小さな会社ですが、代わりがない、代わりがないから、私が最後までやり続けなければならぬ。そしてバタバタと働いているうちに、周りの人たちが理を論じてくれるようになっていきました。「いかに自分が」「受注金額の心配」「朝晩のシャワー」「シャワーが冷たいです。そうやって言ってくることは、慣れさせていると思う。もっとみんなに喜んでもらえるように頑張ろうと思える。たぶん、これが働くということだと思えます。

**私は、私を必要としてくれる人たちのために働いていこうと思う。**

大手企業に入社しても、周りに理解されなければ、楽しく働けない。やりたい仕事をやれたとして

も、それは同じこと。人から必要とされなければ、働く意味が何もないと思うんです。私は、何社も何社も探されて、今の企業で働くことになりました。でも、今はとても毎日が充実しています。今なら自信を持って言えます。「大企業に入社しなくても、やりたい仕事につけなかったとしても、きっと幸せに働くことはできる」と。

夢や希望があるもの。それは、自分が必要とされていることです。企業側から求められなく、やりたい仕事にこの力が活かせること。自分を必要としてくれる会社はどこにあるか。自分自身で探してみよう。意外なところにも「自分な仕事」が見つかるように思います。私のように。



大企業に入社できなくても、望みの仕事につけなくても、きっと幸せに働ける。

日本福祉大学キャリア開発課 2011年2月発行

社会環境が急速な変化にとまらぬ、働くことに対する価値観や意義も大きく揺らいでいます。「自分は何のために働くのか」「このまま社会に出て自分はもうどうなるのだろう」……学生たちの不安な胸の内が、私たちのもとにもダイレクトに届いてくる昨今です。そうした学生たちが将来を考え、わずかでも不安な心が払拭できるよう、本学ではさまざまな職業の方々にインタビューを敢行。社会で働く大人たちからのメッセージを定期的に学生に届ける試みをスタートさせています。

どれだけ時代が変わろうとも、決して変わることのない、働くことに対する普遍的な思いや人生の価値を、学生に伝えていければと考えています。現在、Message1～4までをキャリア開発課のホームページ上(下記アドレス)に掲載。ぜひ、子どもたちとの会話の糸口として、保護者の皆さまにもご覧いただけたらと思っています。 <http://www.n-fukushi.ac.jp/career/>

### 保護者のみなさんのご意見・ご感想・ご相談をお寄せください。

「P.S. 就活中」では、保護者の声を反映させた誌面づくりを心掛けていきたいと考えています。就職キャリア開発機構(担当事務局・キャリア開発課)では、「こんなことが知りたい」「こういう記事を読みたい」というご要望・ご感想のほか、「こういう悩みを抱えている」「こんな時はどうしたらいいのか」というご相談もどしどしEメール又はお電話・FAXでお寄せください。

E-MAIL: [career@ml.n-fukushi.ac.jp](mailto:career@ml.n-fukushi.ac.jp) TEL:0569-87-2321 FAX:0569-87-2273

※電話での対応は、平日は10時～18時30分まで、土曜日は10時～17時の間で受け付けています。